

## 望月利明様

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 藤沢, 法映 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/29822">http://hdl.handle.net/2297/29822</a>

望月利明様

藤沢法暎（金沢大学）

拝啓

ご無沙汰していますが、お元気でご活躍のことと思います。お正月に帰国されたようですが、顔が見れずに残念でした。

私は新生・公明主導の連立政権成立以後、小選挙区制反対運動に忙しく、1月21日の参議院本会議で法案を否決した時には勝ったと思ったのですが、それも一瞬のことで、連立政権と自民党との談合で再逆転（少数意見切り捨てる小選挙区制成立）となり、憤懣やるかたない思いです。大手のマスコミとくに民放テレビの大部分が小選挙区制をしゃにむに推進する側にまわったため、あと一步及びませんでした。

日本は確実に翼賛型政治に向かっており、やがてより大胆な自衛隊海外派遣に向かう可能性が高まりつつあります。大手メディアが急速に権力側に取り込まれたため、有効なチェック機能が働かないのが日本の現状です。（中堅の「週刊文春」、「週刊現代」などが頑張っていますが）社会党の大多数は新生・公明連合にただ追随しているだけです。（社会党は財政難が深刻ですから、「政党助成法」につられたのだと思います。従って小選挙区制に正面から反対したのは共産党だけでしたが、そのわりには社会・自民等にもいるリベラル派が善戦したともいえるし、それ位悪い法律だともいえます。）

といった次第で日本は1940年、大政翼賛会が結成された頃の状況によく似た形にはまり込みつつありますが（基本的には「ゆたかな社会」の中で日本人の質が落ちてきたせいですが）、まあ、あまりひどいことにならないよう、引き続き微力を尽くしたいと思います。

カンボジア難民キャンプの最近の様子いかがですか。そのうち一度お知らせ下さい。ご健勝を祈念しつつ。いずれまた。 （94・2・1）

\*望月君は、研究室の8年前の卒業生。タイにあるカンボジア難民のキャンプで、もう7年以上ボランティア活動を続けているクリスチャンです。